

# 御前山ビオトープ通信

平成26年8月15日

第45号

発行：御前山ダム環境センター  
 編集：NPO「美しい田園21」清野  
 メール：[denen21@hb.tp1.jp](mailto:denen21@hb.tp1.jp)  
 ホームページ：<http://w01.tp1.jp/~a071771011/>



【案内図】



## 目次

- 1 平成26年度第1回育成活動
- 2 TOTO 茨城工場草刈活動を実施
- 3 長山会長のご逝去

### 1. 平成26年度第1回育成活動

6月3日(火)本年度第1回の育成活動を実施しました。

個々数日続いた猛暑が心配されましたが、幸い薄曇りとなり作業条件としてはホッとしました。

今回はNPO関係者が中心となって60名近い参加者がありました。

9時半にダム管理所駐車場に集合し、主催者挨拶、作業分担を行い早速とりかかりました。草刈り機の7台はダム直下のヤマサクラ植栽地の草刈りに、その他は御前山ビオトープに移動して詳細な作業分担をしました。

林間のフタバアオイ、イヌショウマの選抜除草、一番下のクリンソウ植栽地、アギナシ、タコノアシの湿地の草抜き、水芭蕉の草抜きと漏水改良、草刈り機3台は土手の草刈、今回は特に魚道の改築とそれぞれ分担し別れて作業にとりかかりました。

林間の希少種は昨年、病気で葉腐れが出て危機的な状況でしたが、日照条件と排水を一部改良した結果か今年は順調に生育していました。クリンソウは今回初めての移植ですが来年の開花が楽しみです。湿地の希少種もかなり野草に覆われてはいましたが、選抜除草すると全体的には順調に生育していました。水芭蕉の定着しています。

特に今回改築した魚道は、設置してすでに10年を経過して老朽化が激しかったことから、耐久性を考慮しプラスチックのコーゲート管の半割で施工してみました。

取水口も洪水の度に閉塞機能不全となり抜本的な改築改良が必要な状況ですが、秋季の作業として見送りました。グレーチング付のU字側溝を活用して、中山間地でよく採用される「チ



フタバアオイも元気に復活  
 湿地の選抜草抜き



ロール方式」での施工を計画しています。

今回はかなり盛り沢山の作業内容でしたが、人数が多いと進捗も早いものです。

1 時間ほどで全体の作業は終了し、地元の振舞で昼食となりました。スイトン汁とおにぎり、漬物などを用意していただきました。ビオトープ周辺は溪流の爽やかな風は流れ、気持ちの良い昼食でした。

## 2. TOTO 茨城工場草刈活動を実施

恒例となった TOTO 茨城工場のみなさんによる草刈活動が6月14日(土)に20数名が参加して行われました。

梅雨の時期にも関わらず天気にも恵まれ、参加者全員汗を流しながら対岸広場の草刈を行いました。今回は女性の参加も多く、終始和やかな雰囲気で行われました。予定よりも早く終了することができ、昼食はバーベキューで労をねぎらいました。



しっかりと改修された小魚用階段魚道



ダムウォークで挨拶する故長山会長 4/19



## 3 長山会長のご逝去

御前山環境センター会長の長山安隆氏(78歳)は8月6日(水)早朝、ご逝去されました。葬儀は10日(日)常陸大宮市「セレモニーホールみどり」において執り行われました。臨時駐車場を用意するほど大勢の弔問客がありました。三次常陸大宮市長の弔辞では御前山ダムの周辺環境整備に情熱を傾けた故人の熱心な取り組みについて丁寧に述べられました。昨年からの体調不良で治療を繰り返しながらも、この春のダム湖ウォークでは自らマイクをもって山野草などの解説をしてくれ、亡くなる直前まで旺盛に活動されておりました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

長山会長がいなければ御前山ダムはどうなっていたか解りません。計画変更や環境問題などでダムの存亡が厳しい局面にあった際に、当時は御前山村長として「茨城県は農業県であり、農業用水の確保は極めて重要」と熱弁をふるわれたことを昨日のように思い出されます。最後の村長として常陸大宮市に合併後は御前山ダム環境センターの会長として従来から取り組んできた御前山ビオトープに加えて、御前山ダム周辺の環境整備や水源地の村づくりに精力的に行動されてきました。山歩きが大好きで、山野草にもくわしく、晩年になっても勉強されて森林インストラクターの資格を取得するなど博学でした。ダム湖周辺に「湖に映える日本一の山桜の森」を、ダム直下広場には「オオムラサキの森」をつくらうという故人の夢を現実とするために、今後も大勢の協力で繋いでいきたいと思っております。(清野)

